

校長室
だより

おみっ子通信

思い合いの心で みんなが笑顔！

令和7年10月31日

麻績小学校

No. 8



文責：尾台

寒さに負けず

「今、8周目!」「マラソン(記録会)の日まで、毎日走るの!」…ここ数日、急に朝夕冷え込むようになりましたが、休み時間には学校の周りを走ったり、サッカーをしたり、木の葉の上に花や木の実を並べてレストランを開いたり、相変わらず外で身体を動かす元気な子どもたちの姿が見られます。

10月後半は、児童会の企画で、「給食週間」が実施されました。給食に限らず、食について考える2週間。1日の元気の源となる朝ご飯をおいしく食べられるよう、まず生活を整えましょうということで、「早寝、早起き、朝ご飯」を合い言葉に、全校集会で振り返ったり、がんばりカードで確認したり、また、給食も自分でメニューを選ぶセレクト給食や、中学生との交流給食があったりと、普段と違った食の楽しみも味わうことができたようです。気温の変化が激しく体調を崩しやすい時期、しっかりご飯を食べて、元気に乗り切りたいところです。

10月の麻績小ダイジェスト



<みんなでつくる音楽の1日> 麻績保育園、麻績小学校、筑北中学校の麻績村三校園でつくる「おみっこミュージックフェスティバル」。3回目を迎えた今年は、保護者の方々だけでなく、地域の方もたくさん足を運んでくださり、おみっこたちのつくる響きに耳を傾けてくださいました。最後中学3年生の「この思い出を、これからの力に」という言葉の後の、全体合唱「ふるさと」は、圧巻でした。



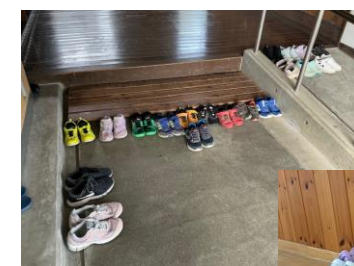
<地域に学ぶ②> 12日、村の「月の里収穫祭」にご招待いただき、初舞台(しかも屋外!)を踏んだ3年生の「おみ村おうえんだいこ」。秋晴れのもと、堂々とした太鼓の音を響かせてきました。夏からご指導いただいた聖太鼓の先生方もほめてくださり、ほっとした表情の子どもたちです。



<収穫の秋> 1、2年生は、学級園のサツマイモを収穫しました。大きなサツマイモをたくさん収穫した後、たまたまその日の給食メニューに「サツマイモ」の文字を見つけた1年生は、「給食の先生、今日このおいしいかなあ」・・・また改めて、みんなでおいしくいただける日を楽しみにしたいところです。



<麻績村の先生方と> 本校では、おみスクールパートナーズの皆さんを地域の先生としてお招きし、様々な活動をとんでいます。先日は、紙芝居の会の皆さんが、麻績村でもかつて盛んだった養蚕と人々の暮らしをテーマにしたオリジナル紙芝居「お蚕さま」を、3、4年生に読んでくださったり、クラブでもお茶や絵画、郷土料理、木工といった活動をとんでいます。子どもたちと一緒に支えていただいています。



<6年やってみよう!②> 「みんなを楽しませたい」という願いに向け、麻績小祭りを企画した6年生。段ボールなどで作った手作りガチャポンや手動ワニワニパニック、流しそうめんの経験を生かしたスーパーボールすくいなど楽しい出しものに、笑顔あふれる子どもたちでした。

<心を整える> ちょっとした時に、脱いだ靴を整えられる子どもたち。靴を脱いだ後、振り返って靴を整えることで、自分の心も整える・・・大切にしたい姿です。

